



# ファーステージ バーチカルブラインド 取扱説明書



## コード操作・ボタン操作

このたびは、弊社製品をお買いいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用になる前に、この説明書を良くお読みいただき、正しくご使用ください。  
お読みいただいたあとは、大切に保管してください。


●表示内容を見誤り誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


	<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない禁止の行為です。
	必ず実行していただく強制の行為です。

●お取付けになる前にお読みください。

	製品重量に耐えられる下地に取付けてください。
---	------------------------

	<ul style="list-style-type: none"><li>・付属部品のネジは木部用です。 木部以外（石膏ボード・コンクリート・鉄板等）への取付けはできません。</li><li>・木部以外への取付けは専用のネジ、アンカー等をご使用ください。</li><li>・本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。</li><li>・この製品は屋内用です。屋外にはご使用できません。</li><li>・水気の係る場所、結露に触れるような場所ではご使用にならないでください。 スラット（羽根）にシミ等が発生する場合があります。</li><li>・窓を開けて直射日光を製品に長時間当てないでください。 スラット（羽根）など部品が極端に退色したり、劣化が促進する場合があります。</li></ul>
---	---

 タチカワブラインドグループ  
立川機工株式会社









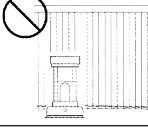

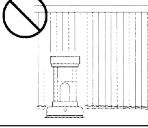
## 安全上のご注意（必ずお守りください）

### ご使用になる前にお読みください

	<b>注意</b>	
	製品にぶら下がったり、無理に引っ張ったり、急激な操作をしないでください。また、製品にもものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。	
	操作は必ずドライブコード、チルトポール（コード操作）・ボタン（ボタン操作）で行ってください。直接スラット（羽根）を手で引っ張ると故障の原因となる恐れがあります。	
	コード操作の場合、ドライブコードはまっすぐ下に引いて操作してください。左右斜め方向に引くと、製品破損や故障の原因となる恐れがあります。	
	製品の動く範囲内に人や動きを妨げるものがないようにしてください。けがをしたり、ものが破損する恐れがあります。	
	窓を開けるときは、できるだけスラット（羽根）をたたみ込んでください。特に風の強いときは必ずたたみ込んでください。製品の破損や、思わぬ事故をまねく恐れがあります。	
	スラット（羽根）の端部を不用意に扱わないでください。けがをする恐れがありますのでご注意ください。	
	分解や改造をしないでください。製品が破損したり、落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。	

### ご使用になる前にお読みください

#### 警告

-  お子様やペットを製品に近づけないでください。スラット（羽根）やボトムコードに引っ掛かる、ドライブコードが首や体に巻きつくなどして思わぬ事故をまねく恐れがあります。
-  コード操作の場合はドライブコードをコードウェイトでお子様の手の届かない位置に確実に束ねてください。お子様の手の届く位置でドライブコードを束ねると、思わぬ事故をまねく恐れがあります。コードウェイトはドライブコードから外さないで使用してください。
-  ※コードウェイトについて  
ドライブコードを危険のないようにたくし上げる部品です。小さなお子様がいる場合など手の届かない位置までたくし上げられます。
-  小さなお子様がいるご家庭では、製品の近くにソファやベッドを置かないでください。ドライブコードに手が届き、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
-  火のそばではご使用にならないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。

■事故が起きたり危険を感じたら弊社までご連絡ください。事故の再発防止や安全性の向上のため情報提供をお願いします。

#### 保証書

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、商品の引き渡し日より2年間は無料にて修理をさせていただきます。但し、「スラット部」、「コード類」につきましては、無償修理期間を商品の引渡し日より1年間とさせていただきます。外観不良につきましては、商品の引渡し後7日以内にお申し出ください。下記の弊社事業所、又はお買い上げ店にお問い合わせください。

- \* 次のような場合は無償修理期間内でも有料修理となります。
- ・取付上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
- ・機能喪失を伴わない意匠劣化。（さび、樹脂部分の変質、変色、塗装の退色、かびなど）
- ・天然素材の特性による現象。（例 木部の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜けなど）
- ・建築躯体の変形など製品以外に起因する不具合。
- ・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
- ・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による損傷。

日本製

製品改良の為、予告なく仕様変更することがありますので予めご了承ください。

メンテナンスシール貼付位置


 タチカワブラインドグループ  
立川機工株式会社  
ティークーウィンドウズ事業部

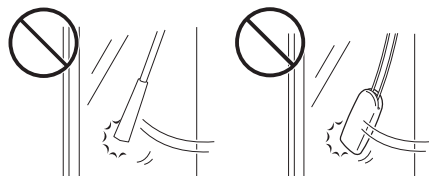
事業部 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-16-4 Tel.03-3370-6871  
大阪営業部 〒531-0071 大阪府大阪市北区中津2-3-5 Tel.06-6372-1625  
<http://www.tachikawa-kikou.co.jp/>

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

### ご使用になる前にお読みください






#### 注意

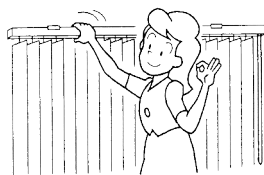
-  チルトポール・ボタン、コードウェイトは窓ガラスに当たらないように扱ってください。窓ガラスに当たるとガラスの破損や思わぬ事故をまねく恐れがあります。



### お取付けになる前にお読みください

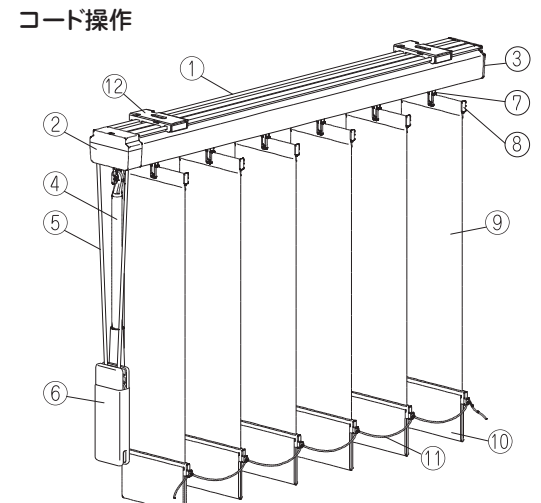
#### 注意

-  製品重量に耐えられる下地に取付けてください。製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
-  電動工具をご使用になる場合、下地やビス、アンカーにあった適正なトルクで取付けてください。過度なビスの締め付けは下地やビスの破損により製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
-  取付けブラケット（天井付け・正面付け）で取付ける際、取付け面に指定のビス本数で全ての取付けブラケットを確実に固定してください。確実に固定されていないと、製品が落下し思わぬけがをすることがあります。
-  取付けブラケットを使用して取付ける際は、ハンガーレールが全ての取付けブラケットに確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
-  木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。



# 各部の名称

コード操作

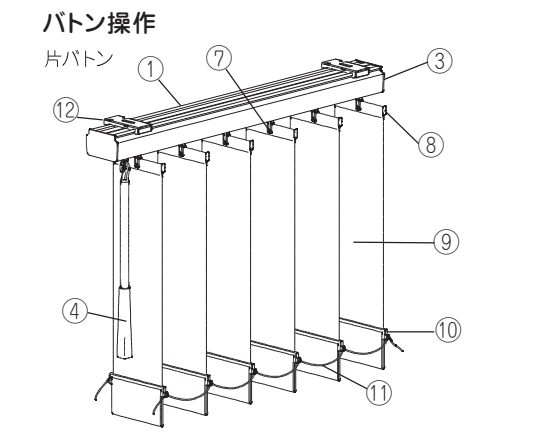


部 品 名

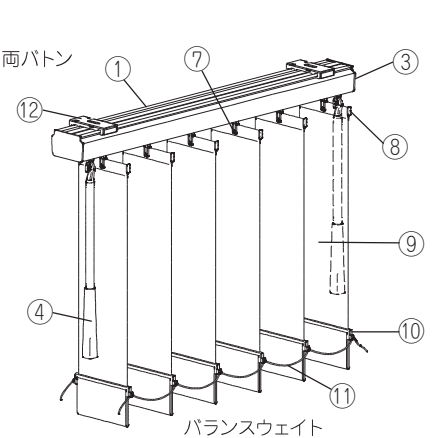
①ハンガーレール  
②操作部  
③エンド部  
④チルトボール/ボタン  
⑤ドライブコード  
⑥コードウェイト  
⑦ランナー  
⑧スラットハンガー  
⑨スラット  
⑩バランスウェイト  
⑪ボトムコード  
⑫取付ブラケット  
⑬取付け補助金具  
※別紙参照

ボタン操作

片ボタン




両ボタン

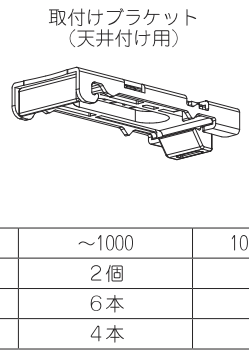


# 付属部品

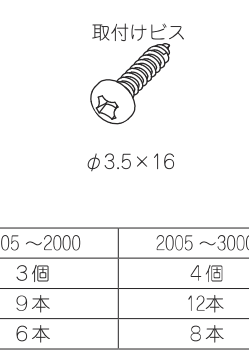
取付けブラケット  
(正面付け用)



取付けブラケット  
(天井付け用)



取付けビス



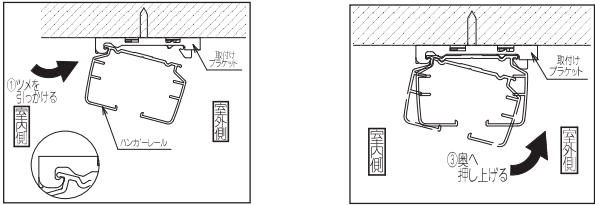
φ3.5×16

製品幅 (mm)	～1000	1005～2000	2005～3000	3005～4000
ブラケット個数	2個	3個	4個	5個
取付けビス本数(正面付け)	6本	9本	12本	15本
取付けビス本数(天井付け)	4本	6本	8本	10本

※ボタンは片ボタンに1本、両ボタンに2本付属します。  
※本仕様及び付属部品は、予告なく変更する場合があります。

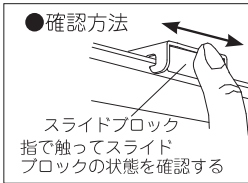
# 製品の取付けかた

- ②ハンガーレールを取付けます。
- ハンガーレールを両手で持ち、取付けブラケットの手前のツメにハンガーレールを引っかけてください。
  - 引っかけた状態で左右のバランスを見て位置を決めてください。
  - ハンガーレールを矢印の方向にもっていき「カチッ」と音がするまで押し上げてください。



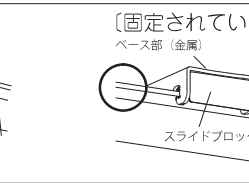
- ③全ての取付けブラケットに確実に固定されていることを確認してください。

●確認方法



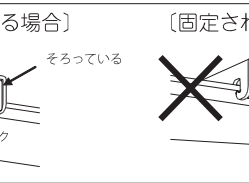
スライドブロック  
指で触ってスライドブロックの状態を確認する

〔固定されている場合〕




ベース部 (金属)  
そろっている  
スライドブロック

〔固定されていない場合〕



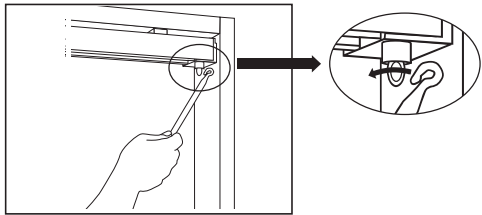
へこんでいる



**注意**

ハンガーレールが確実に固定されているか確認してください。  
確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

- 4) チルトボール・バトンの取付け
- 操作部についているフックの穴に、チルトボール・バトンを引っかけてください。




- 5) スラットの取付け
- ①スラットフックの向きが揃っていることを確認してください。揃っていない場合は「操作のしかたースラットの角度調整」に従い、スラットフックを回転させ向きを揃えてください。


# 製品の取付けかた

製品本体の取付け

必要な工具：プラスドライバー・巻尺（スケール）

- 1) 製品の確認
- 

**注意**

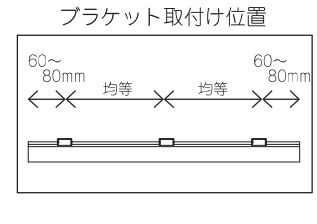
製品の変形、破損、付属部品の不足等がないことを確認してください。  
異常または不足がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。
- 2) 取付け下地の確認
- 

**注意**

  - 製品に付属している取付けビスは木部用ですので、木部以外の下地にご使用になれません。
  - 石こうボード等で木部下地に直接取付けビスを打てない場合は、木部下地に15mm以上ビスがかかるように長いビスをご使用ください。
  - 木部以外の下地に取付けるときは、その下地の強度や材質に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
  - 取付け部が水平になっているか確認してください。(天井付けの場合)
  - 製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

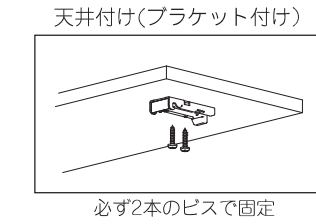
- 3) ハンガーレールの取付け
- 天井付け（ブラケット付け）・正面付け（ブラケット付け）の場合
- ①取付けブラケットを取付けます。
- 製品両端部より60～80mm程度内側に離れた位置に取付けブラケットをビスで固定してください。
  - 取付けブラケットが3個以上の場合は、両端の取付けブラケット間を等分にした位置で、両サイドの取付けブラケットと一直線になるよう取付けてください。
  - 正面付けの場合は、取付けブラケット（正面付け用）の上面が水平になるように取付けてください。
  - 正面付けの場合は、複数の取付けブラケット（正面付け用）の取付け高さが揃うように取付けてください。

ブラケット取付け位置



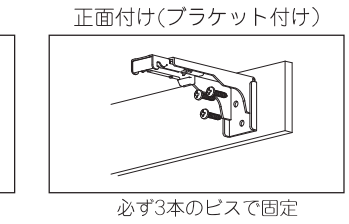
60～80mm 均等 均等 60～80mm

天井付け(ブラケット付け)



必ず2本のビスで固定

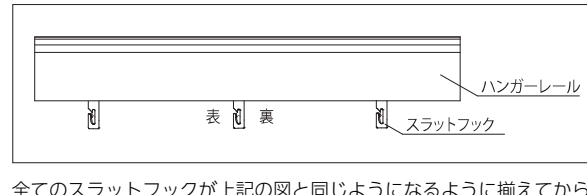
正面付け(ブラケット付け)



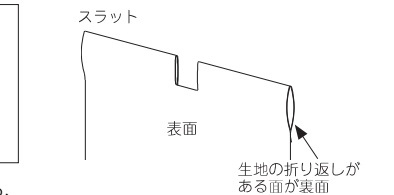
必ず3本のビスで固定

# 製品の取付けかた

- ②スラットを1枚ずつスラットフックに掛けてください。
- スラットとスラットフックには表裏があります。スラットはスラットフックと表裏を揃えて取付けます。



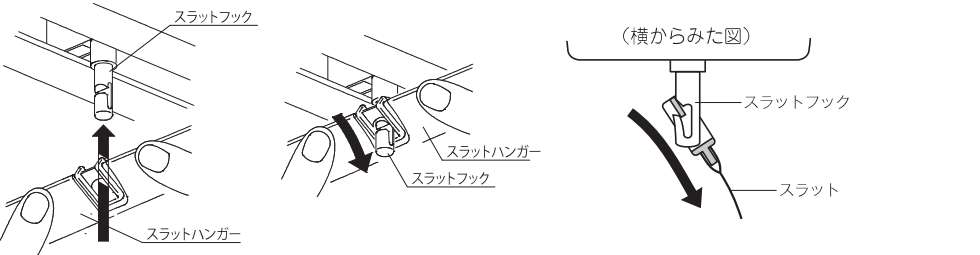
スラットハンガー  
表 裏  
スラットフック



スラット  
表面  
生地折り返しがある面が裏面

全てのスラットフックが上記の図と同じようになるように揃えてから、スラットの表裏を揃えてスラットフックにスラットを取付けてください。

- (a)スラットハンガーを下からスラットフックに通します。
- (b)スラットハンガーをスラットフックに引掛けます。

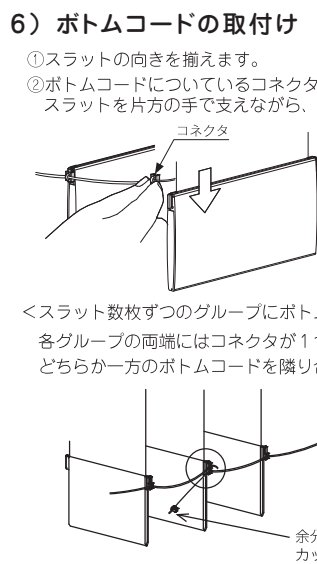


※日射方向など使用環境に合わせて、スラットの表裏を逆に取付けることもできますが、スラットによっては見え方が異なる場合がありますのでご注意ください。

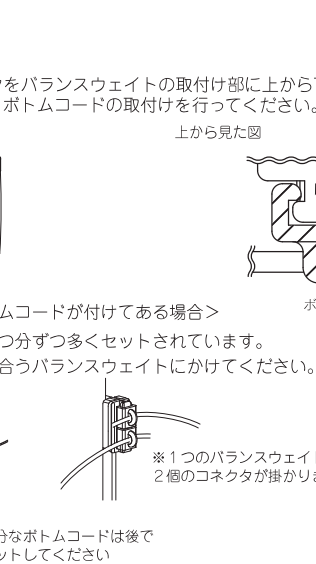
6) ボトムコードの取付け

①スラットの向きを揃えます。

②ボトムコードについているコネクタをバランスウェイトの取付け部の上から下に引っかけて取付けます。スラットを片方の手で支えながら、ボトムコードの取付けを行ってください。

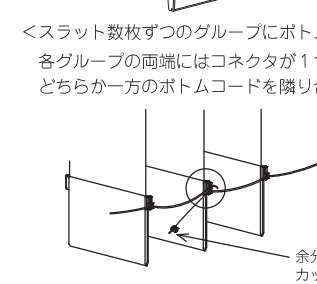


コネクタ

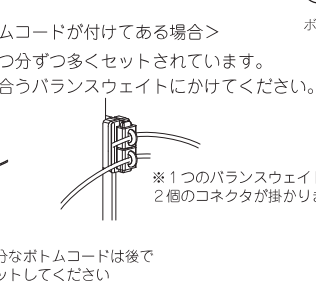


上から見た図  
バランスウェイト取り付け部  
コネクタ  
ボトムコード

＜スラット数枚ずつのグループにボトムコードが付けてある場合＞  
各グループの両端にはコネクタが1つずつ多くセットされています。  
どちらか一方のボトムコードを隣り合うバランスウェイトにかけてください。



余分なボトムコードは後でカットしてください



※1つのバランスウェイトに2個のコネクタが掛かります。

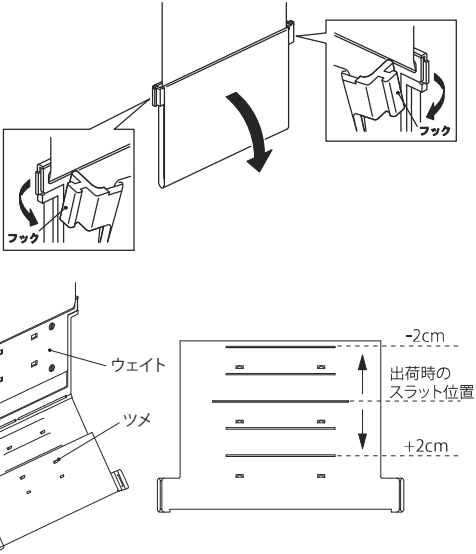
- ボトムコードは一番端のスラットのバランスウェイトから取付けてください。
- ボトムコードはバランスウェイトの両側に取付けてください。  
動作不良の原因となる恐れがあります。



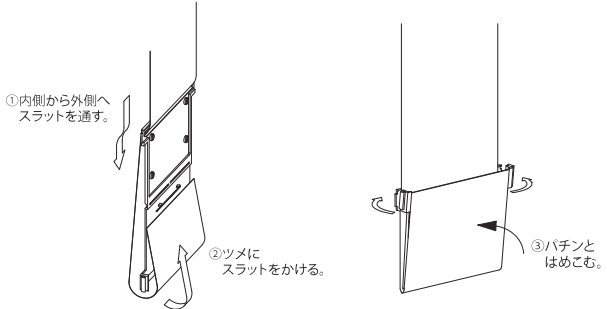
製品の取付けかた

7) スラット丈の調整

- ① バランスウェイトを両手で持ち、両側のフックを押し広げるようにして外します。
- ② バランスウェイトにあるスラットを引っかけるツメに対して、スラットの位置を上下に変更することでスラット丈を±2cm調整ができます。



- ※更に短くしたい場合はスラットの切断位置を決め、ハサミで切り取ります。ツメにあわせキリ状のもので穴を開けます。
- ③調整後はバランスウェイトを元通りにセットし閉じてください。

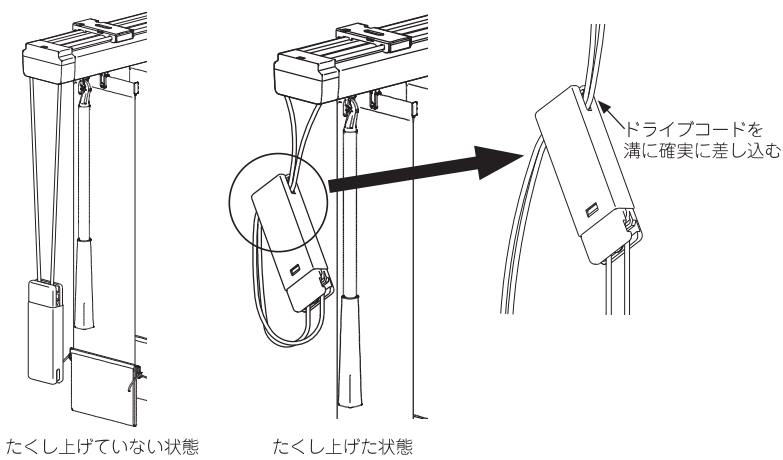


**注意**

- ・スラットを不用意に扱うと、スラット端部で手を切る場合がありますのでご注意ください。
- ・バランスウェイトの両サイドのフックは無理やり広げないでください。割れる恐れがあります。
- ・スラット丈の調整後は、スラットが確実にバランスウェイトにセットされていることを確認してください。

操作のしかた

- コードウェイトの使い方(コード操作のみ)
  - ①操作しないときはドライブコードをコードウェイトでお子さまの手の届かない高さまでたくし上げてください。
  - ②たくし上げた際は、ドライブコードがコードウェイトに確実に差し込まれていることをご確認ください。



**警告**

「コードウェイトの使い方」の通りご使用ください。ご使用にならない場合、ドライブコードがお子さまの首に巻きついたり、引っかかり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

こんなときは

症 状	原 因 と 処 置
コードウェイトがドライブコードから外れてしまった。	<div><p>ドライブコードとプーリーを合わせた状態にして、コードウェイトの側面から差し込んでください。差し込んだ際、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。</p><p>「カチッ」と音がするまで差し込む。</p></div>

操作のしかた（コード操作）

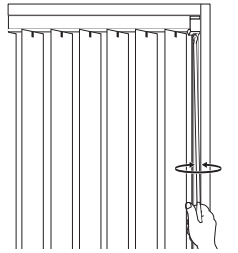
**注意**

操作する前にスラットの動く範囲に障害物がないことを確認してください。

- スラットの角度調整（調光）

チルトポールを回すとスラットが回転し調光ができます。

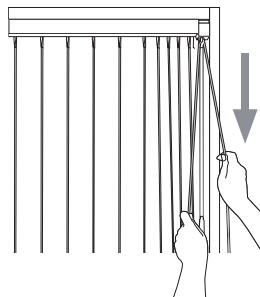
何らかの要因でスラット角度に不揃いが生じた場合は、チルトポールでスラットを回転させ、いったんすべてのスラットを全開状態にしてから再び角度調整をすると揃います。



スラットの誘導は、スラットをハンガーレールに対して垂直（＝全開状態）にしてから操作してください。

- 全体の開閉

ドライブコードの一方を下に引くとスラットがたたみ込まれブラインドが開きます。一方を下に引くとスラットが広がりブラインドが閉じます。操作はゆっくりと行ってください。



エンド部について（セーフティユニット）

ハンガーレール内には、ドライブコードに通常操作以上の負荷がかかった場合に、エンド部が2つに分解され、ドライブコードが緩む仕組みの装置が組み込まれています。エンド部が2つに分解は、された場合エンド部(B)をエンド部（A）に向かってすべらし、カチッと音がなるまで確実にはめ込むと再び使用することができます。

**注意**

- ・ドライブコード、チルトポールを同時に操作したり、コードの両側を同時に引かないでください。製品破損や製品落下の原因となり、思わぬ事故をまねく恐れがあります。
- ・スラットが広がった状態やたたみ込まれた状態やスラットが遮蔽状態からさらにチルトポールを回したり、ドライブコードを引かないでください。故障の原因となる恐れがあります。

操作のしかた（ボタン操作）

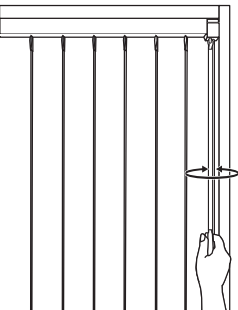
**注意**

操作する前にスラットの動く範囲に障害物がないことを確認してください。

- スラットの角度調整（調光）

ボタンを回すとスラットが回転し調光ができます。

何らかの要因でスラット角度に不揃いが生じた場合は、ボタンでスラットを回転させ、いったんすべてのスラットを全開状態にしてから再び角度調整をすると揃います。



**注意**

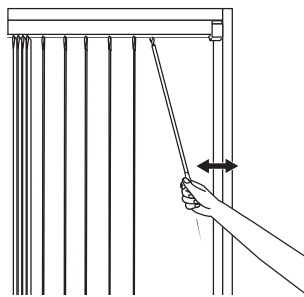
ボタンを左右、斜めの状態から回転させたり、無理に回し続けたり、強く下に引っ張るとフックのねじれ、変形、破損により動作不良となる恐れがあります。

スラットの誘導は、スラットをハンガーレールに対して垂直（＝全開状態）にしてから操作してください。

- 全体の開閉

ボタンを左右に引くと、ボタンの動きにともなってスラットが移動し、スラットをたたみ込んだり、広げたりブラインドの開閉ができます。操作はゆっくりと行ってください。

※速くボタンを引くとスラットが勢いよく移動し、スラットがばらつき、たたみ込み が綺麗にできなくなります。



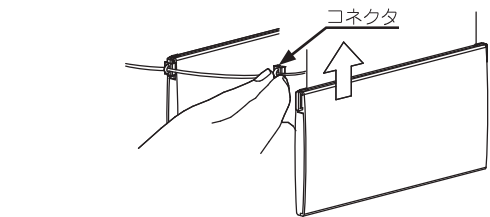
**注意**

スラットが広がった状態やたたみ込まれた状態やスラットが遮蔽状態からさらにボタンを回したり、引いたりしないでください。故障の原因となる恐れがあります。

製品の取外しかた

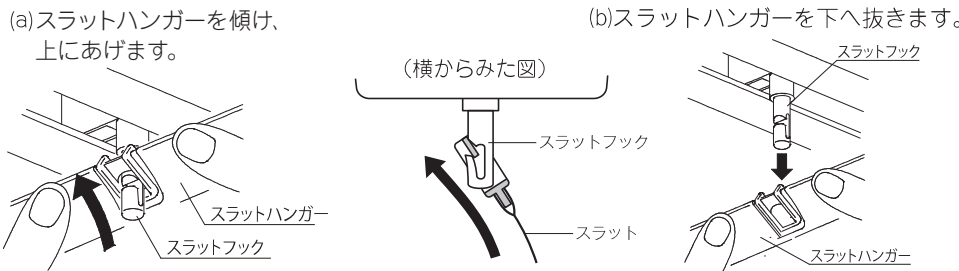
1) ボトムコードの取外し

- ①チルトコードを操作して、スラットの向きを揃えます。
- ②ボトムコードについているコネクタを下図のようにバランスウェイトから取外します。スラットを片方の手で支えながら、ボトムコードの取外しを行ってください。



2) スラットの取外し

スラットを傾け、上へあげてランナーのスラットフックから抜き取ります。

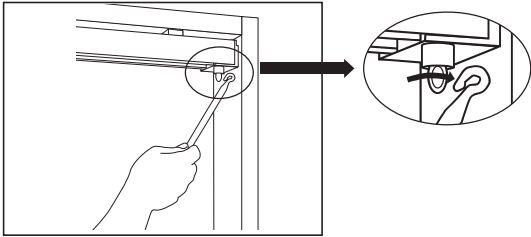


**注意**

スラットを傾け、スラットフックから抜き取る際、スラット端部を強く触れないようご注意ください。手を切る場合があります。

3) チルトポール・バトンの取外し

操作部についているフックの穴からチルトポール・バトンを外してください。



スラットの洗濯方法 ウォッシュブルのスラットの場合

ウォッシュブルのスラットには、スラット裏面上部に洗濯表示のラベルが縫い付けてあります。ウォッシュブルのスラットは、スラットを取外してご家庭の洗濯機で洗うことができます。(スラット1種類につき1枚のみ)

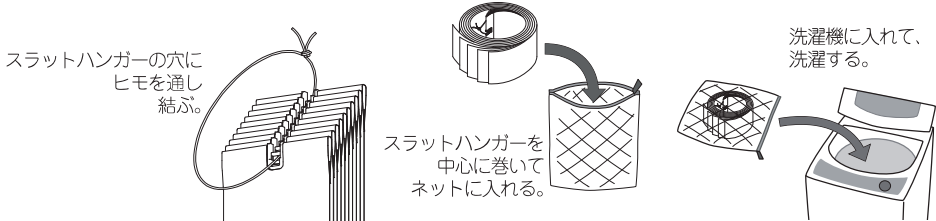
- ・ウォッシュブル対応スラット以外は洗濯できません。
- ・スラットの一部が汚れた場合は、洗濯の前に汚れた部分を軽くたたき洗いしてからスラット全体を洗濯してください。全体を洗濯しないと部分的にシミになることがあります。
- ・他の洗濯物と一緒に洗わないでください。
- ・ドラム式洗濯機は使用しないでください。スラットを傷める原因となります。

1) スラットの取外し

- スラットを全て取外してください。
- 外したスラットからバランスウェイトを外します。

2) スラットの洗濯

- ・洗濯表示の取扱い表示に従って洗濯してください。
- ・スラットのネットへの入れ方は以下の通りおこなってください。
  - ①10枚程度ごとにまとめて、スラットハンガーの穴にヒモを通し結びます。
  - ②スラット上部を中心(内側)にして巻き、巻きがほどけないぐらいの大きさのネットに入れます。
- ※ネットが大きい場合は、巻きがほどけないように外側を軽くヒモで結んでからネットに入れてください。



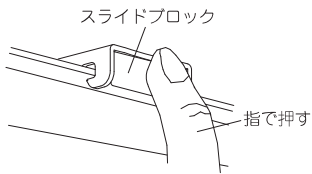
- ・アイロンをかけるときは、スラットを引っばらないでください。スラットが伸びる場合があります。

3) スラットの取付け

スラットに外したバランスウェイトを元通り取付け、スラットフックに吊りこんでください。

製品の取外しかた

- 天井付け(ブラケット付け)の場合
- 正面付け(ブラケット付け)の場合
  - ①ハンガーレールを手で支えた状態で、取付けブラケットのスライドブロックを指で押すと、後側のロックが解除され、ハンガーレール前面のツメだけが引っかった状態になります。
  - ②ハンガーレールを少し持ち上げるようにして取外します。



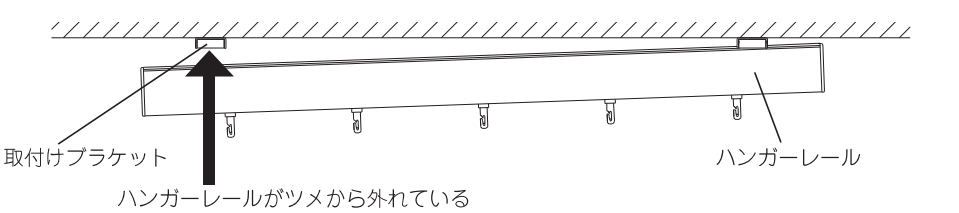
**注意**

ハンガーレールが落下しないように手で支えながらスライドブロックを押してください。

①スライドブロックを押す

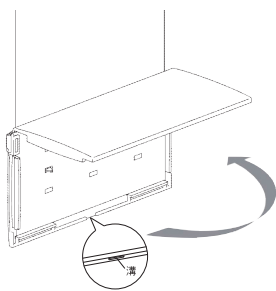
②ハンガーレールを少し持ち上げるようにしてツメから外す

※上図②のハンガーレールを取付けブラケットのツメから外す作業は、先に全てのスライドブロックを押してから行ってください。下図のように一箇所でもツメから外れてしまうと、ハンガーレールを水平な状態に保ちにくくなり、残りのブラケットから製品を取外せなくなることがあります。



バランスウェイトの取外しかた

バランスウェイト下部中央の溝に指をあて、広げるように開きます。



【スラットの洗濯方法】

■取扱表示

生地洗濯は以下の取扱表示に従ってください。

	液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		底面温度120℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げができる
	塩素系及び酸素系漂白剤の使用禁止		ドライクリーニング禁止
	タンブル乾燥禁止		ウェットクリーニング禁止
	日陰のつり干しがよい		ねじり又は絞り禁止。あて布使用。

お手入れのしかた

- ・日頃のお手入れは、ハンディモップ等でほこりを取り払ってください。
- ・水拭き可能なスラットの場合、水または中性洗剤を含ませた布を絞り、汚れた部分をやさしく拭き取ります。強く拭き取るとスラットが変形する恐れがあります。その後必ず水拭きをしてください。
- ・水拭き可能なスラットの場合、消毒用アルコールや次亜塩素酸水を吹きかけた後はきれいな柔らかい布で拭いてください。表面に消毒用アルコールや次亜塩素酸水が残ったままにするとスラットが劣化する恐れがあります。